



マスター商事株式会社 1885 (明治18年創業)

明治18年創業のマスター商事(株)には、二つの看板が大切に保管されています。一つには「砂糖荒物商」の文字。もう一つは「紐育スタンダード石油會社の正規販売代理店の証である丸看板。そして現在の本社の外壁に光るのはオリックスレンタカーのマーク。宮の老舗商社である同社の127年の歩みをうかがいました。

## 時流に即した事業展開で地域に貢献

明治元年の戊辰戦争により焼け野原となった宇都宮城下が復興を遂げ、宇都宮駅が開業した明治18年。県内の政治・文化・経済の中心地となり近代化に向けて動き出した宇都宮(宮島町)に、57歳の初代矢嶋勝兵衛氏が砂糖荒物雜貨商「升屋」を開業しました。これがマスター商事の起源です。商売の基礎を強固にしたのは、二代目の矢嶋藤吉氏。商業都市として華開いた宇

都宮市の中心、日野町に店を構え、ニューヨークスタンダード石油(エクソンモービル社の前身)の販売代理店となるなど先見性に富んだ経営で店を盛り立てました。「升屋の藤吉」を略して「升藤(マスター)」という店の愛称が生まれたのもこの時期。その後の太平洋戦争前後の厳しい時代を家族の協力で乗り切り、マスター商事は砂糖と石油を軸に、順調に商いを拡大してきました。

「私が子どもの頃は、毎年1つずつマスターのガソリンスタンドが増えていった、そんな時代でした」と高度成長期を振り返る、現社長で六代目の矢嶋史朗氏。祖父にあたる四代目良吉氏には、跡継ぎとしてずいぶん可愛がられたそうです。しかし「いい時代」は永遠ではありませんでした。「1970年代、日本では車がステータスシンボルとしても

てはやされ、ガソリンも商材としてどんどん伸びていくと誰もが思っていました。しかし、その頃、アメリカではすでにガソリンスタンドが次々と倒産していたんです」と話すのは、平成元年から社長として経営にあたった現会長の矢嶋昭司氏。70年代にアメリカを視察し「日本のガソリン業界は20年遅れている」とガソリンスタンドの先行きに危機感を抱いていた昭司氏は、昭和61年に、既にアメリカで需要の拡大していたレンタカー事業に着手。「どう努力しても、世の中の流れに逆らうことはできません。経営を継続させるためには、従来の商売にこだわらずに、社会の変化に合わせた新たな変身が必要だと考えました」と当時の心境を明かします。

その後スタンド業界の変化が急速に進み、同社は平成12年に石油製品の販売事業から撤退。同時に、オリックスレンタカー栃木の事業所数は、平成12年当時の3カ所から現在は13カ所(栃木9、福島4)へと拡大。「店舗スタッフとの強い信頼関係を築いて組織を固め、事業の発展と

もに地域貢献を目指しています」と平成16年から同社の社長も兼務する史朗社長。発展の鍵となるのは、人材育成と店舗サービスのレベル向上。120人を超える従業員のエネルギーを武器に、その目は未来へとまっすぐに向かっています。



明治時代から戦前まで店先に掛けられていたホーロー焼きの看板も、同社の歴史を物語る貴重な品々の一つ



二代目勝吉時代からの大黒柱に掛けられていた看板



会長の矢嶋昭司氏(写真右)と、社長の矢嶋史朗氏。壁に掛かる絵画は会員の作品



オリックスレンタカー宇都宮高岡東店

### マスター商事株式会社

[本社] 宇都宮市石井町3373-21

☎028-657-0022(代)

### オリックスレンタカー栃木株式会社

●宇都宮市内店舗

オリックスレンタカー宇都宮駅西口店

宇都宮市大通り4-3-19 ☎028-627-0543

オリックスレンタカー宇都宮陽東店

宇都宮市陽東1-9-23 ☎028-683-2543

オリックスレンタカー宇都宮駅東口店

宇都宮市東宿郷1-5-19 ☎028-651-2543

レンタカー・ジャパレン宇都宮駅前営業所

宇都宮市大通り2-4-13 ☎028-632-5515